営農情報 第3号

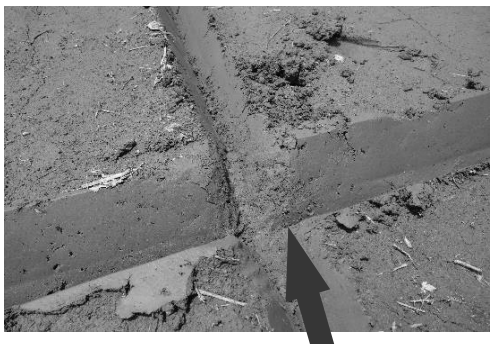
令和７年ＪＡ冬期懇談会資料をご活用ください（参照ページは各項目に記載）。

令　和　7　年　5　月　16　日
アルプス農協管内農業技術者協議会

1 溝掘り ～溝の連結を確実に～

参照ページ：p36

中干しを田植後4週間までに開始するため、**溝掘りは田植後３週間頃を目安**に必ず実施しましょう！



《溝掘りの効果》

○圃場への入・排水を短期間で均一に行うことができ、水管理がしやすくなります。
○圃場全体が同じように乾き、秋の収穫作業が行いやすくなります。

《溝掘りのポイント》

○溝を掘る2～3日前に落水し、土がやや硬くなった状態（土壌表面が乾く程度）にしましょう。
○溝掘り作業直前に、ヒタヒタ水程度まで再度入水してから掘りましょう（作業後は落水してください）。
○**設置の目安は5m（15～17 条）に1本程度**とし、特に圃場の周囲と中央の1本はしっかり掘りましょう。
○水がいつも溜まっているところや乾きにくいところは、溝を多く掘りましょう。
○溝は、深く掘り下げた水尻と確実に連結してください。
○溝が埋まった場合は再度掘り直しましょう。

9 溝掘り・中干し

溝と溝はきちんと連結しましょう！

2 中干し ～適正な生育量への誘導～

参照ページ：p37

《中干しの効果》

①発根の促進、稲体の健全化　②土壌内の有害ガスの除去
③過剰分げつの発生抑制　④適正な葉色への誘導
⑤収穫時の機械作業がスムーズに行える地耐力の確保

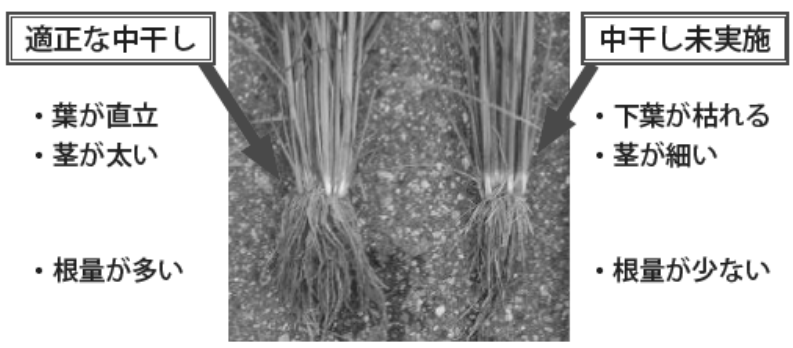
《中干し開始の時期と方法》

○**田植後 4 週間までに遅れず開始**しましょう。
本格的な梅雨に入ると、十分に中干しができません。

適切な中干し後の状態

中干し終了時は、圃場中央でくるぶしが軽く沈む程度の硬さとなるようにしましょう。

【中干しの有無による稲姿の違い】



大きなヒビができるほど強く干すと、

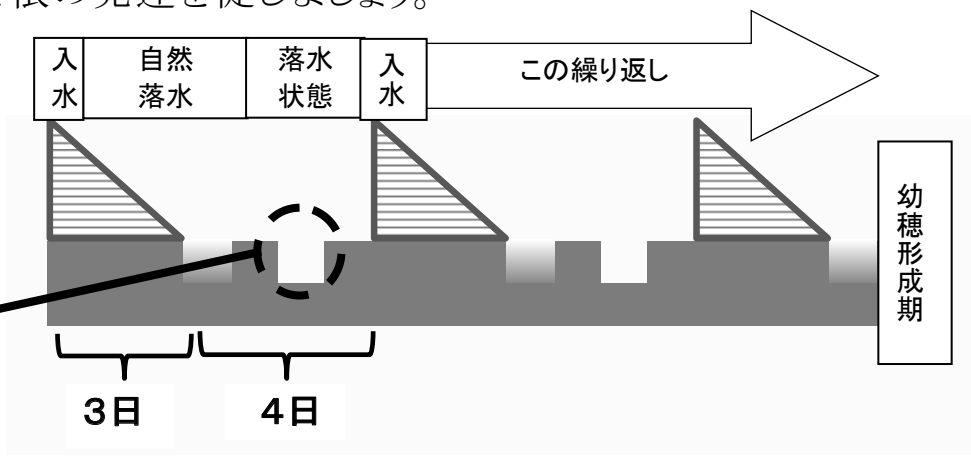
根を傷めるとともに、基肥一発肥料の穂肥成分が十分に吸収できないので、干し過ぎないようにしましょう。

3 中干し後の水管理

参照ページ：p38

○**中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」**をしましょう。
根は幼穂形成期まで急速に多くなります。幼穂形成期まで入水と落水を繰り返す「間断かん水」で、土壌に酸素と水を供給して根の発達を促しましょう。

足跡の水がなくなったら入水



【間断かん水の方法】
乾きやすい圃場：入水→自然落水→2～3日落水
乾きにくい圃場：入水→自然落水→4～5日落水

【You Tube】
JA アルプス
農業情報ボックス

10 中干し後の水管理

4 移植水稲の中・後期除草剤 ～使用基準を厳守しましょう～

参照ページ：p35

○雑草の種類や発生状況を確認し、遅れず適期に散布しましょう。
○圃場の水を入れ替えてから半日程おき、土を落ち着かせてから散布しましょう。
散布後5日間は水深5㎝程度を保ち、散布後7日間は止め水管理とし水田外への流亡を防ぎましょう。
※バサグラン粒剤、ロイヤント乳剤、トドメバスＭＦ液剤は落水またはごく浅く湛水して散布する。

除草剤名	対象雑草	10a当たり使用量	使用時期	使用回数	使 用 上 の 注 意 点
ワイドショット 1キロ粒剤	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ 他	1kg	移植後 15 日～ ノビエ4葉期まで （収穫45日前まで）	1回	・**イネ4葉期以前**の使用は避ける。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
テッケン 1キロ粒剤	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで （収穫60日前まで）	1回	・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
テッケン ジャンボ	一年生雑草および 多年生広葉雑草	小包装 （50g）× 10個 （500g）	移植後15日～ ノビエ4葉期まで （収穫60日前まで）	1回	・**藻が多発している圃場では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので、使用を避ける。** ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で散布する。
バサグラン粒剤 ※	マツバイ、ホタルイ、 オモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ 他	3～4kg	移植後15日～ 収穫45日前まで	1回	・ノビエに効果無し。 ・**晴天の持続する時（2日以上）を選んで散布する。** ・落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後3～4日間は入水・落水しない。
クリンチャー ジャンボ	ノビエ	小包装 （50g）×20 個(1kg)	移植後7日～ ノビエ4葉期まで （収穫30日前まで）	2回以内	・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で散布する。 ・**藻が多発している圃場では拡散が不十分となり効果不足の可能性があるので、使用を避ける。**
		小包装 （50g）× 30個(1.5kg)	移植後25日～ ノビエ5葉期まで （収穫30日前まで）		
トドメMF 1キロ粒剤		1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期まで （収穫50日前まで）	3回以内	・ノビエ専用剤。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
ロイヤント乳剤 ※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	200mℓ 希釈水量 25～100ℓ	移植後20日～ ノビエ5葉期まで （収穫45日前まで）	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・**落水散布する場合は、散布後3日以内に入水する。** ・クサネムは約70㎝まで早めに散布する。 ・ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラに効果劣る。
トドメバスMF 液剤 ※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1,000mℓ 希釈水量 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期まで （収穫50日前まで）	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・展着剤は加用しない。

5 中間追肥

参照ページ：p24

○6月下旬に、**ケイ酸質資材を施用**しましょう。
○圃場が湿った状態で散布しましょう。
《効果》
・根の活力を高め下葉の枯れ上がりを防ぎます。
・茎を硬くし、倒伏や病気に強い稲体にします。

肥料名	施用量
エスアイ加里らくだ	15kg/10a
けい酸加里	20kg/10a

お 知 ら せ

○公道における泥の管理について
トラクターや田植機などを使用した後は、機械に着いた泥をできるだけ落とし、道路には落とさないように心がけましょう。
もし、道路に泥を落とした場合は、速やかに取り除きましょう。みんなで使う道路は、常に綺麗にしましょう。

≪次回の営農情報（てんたかく防除・カメムシ対策等）は**6月13日**頃の発行です。≫